

25	オリンピック・パラリンピック準備局	ラグビーワールドカップ2019 <sup>TM</sup> の準備
事業概要	<p>ラグビーワールドカップ2019<sup>TM</sup>(以下「RWC2019<sup>TM</sup>」という。)は、ラグビーのナショナルチーム世界一を決定する世界的な大規模スポーツ大会であり、平成31年9月20日から11月2日まで、東京をはじめ全国12都市で開催される。</p> <p>RWC2019<sup>TM</sup>は、スポーツ都市東京を世界にアピールするとともに、都民のスポーツへの関心を高める絶好の機会となる。</p> <p>また、RWC2019<sup>TM</sup>の会場となる東京スタジアムは、多摩地域のスポーツ拠点であり、翌年の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では7人制ラグビー会場ともなることから、東京におけるラグビーの普及振興を図ることができる。</p> <p>RWC2019<sup>TM</sup>と東京2020大会を一体的なものとしてとらえ、両大会共通の課題について戦略的に準備を進めていくことで、RWC2019<sup>TM</sup>の取組を東京2020大会につなげていく。</p> <p>RWC2019<sup>TM</sup>開催に向けて、オリンピック・パラリンピック準備局は、庁内各局、公益財団法人ラグビーワールドカップ2019組織委員会(以下「RWC2019組織委員会」という。)、公益財団法人日本ラグビーフットボール協会、他の開催自治体、地元市などと連携し、着実に準備を進めている。</p>	
これまでの経過	<p>平成21年7月28日 ラグビーワールドカップ2019<sup>TM</sup>(RWC2019<sup>TM</sup>)の日本開催が決定</p> <p>平成26年10月21日 都がRWC2019<sup>TM</sup>の開催都市に立候補</p> <p>平成27年3月2日 都がRWC2019<sup>TM</sup>の全国12の開催都市の一つに決定</p> <p>平成27年9月18日 ラグビーワールドカップ2015(RWC2015<sup>TM</sup>)が開幕</p> <p>平成27年9月28日 都の開催会場として東京スタジアムが決定し、併せて開会式及び開幕式の東京スタジアムでの開催が決定</p> <p>平成27年10月27日 RWC2019<sup>TM</sup>の開催期間が決定</p> <p>平成28年1月29日 RWC2019<sup>TM</sup>東京都開催分に伴う経済波及効果の試算を公表(約824億円)</p> <p>平成28年5月24日 RWC2019<sup>TM</sup>公認チームキャンプ地の選定プロセスが公表</p> <p>平成28年6月18日 ラグビーテストマッチ(日本代表対スコットランド代表)に合わせ、パブリックビューイングを汐留で実施</p> <p>平成28年6月25日 東京スタジアムでラグビーテストマッチ(日本代表対スコットランド代表)が開催、同スタジアム周辺でラグビーフェスティバル2016&amp;TOKYOを開催</p> <p>平成28年9月20日 RWC2019<sup>TM</sup>開催3年前を記念し都庁舎等でライトアップ実施</p> <p>平成28年11月5日 ラグビーテストマッチ(日本代表対アルゼンチン代表)に合わせ、フォーリス前けやき広場でパブリックビューイングを実施</p> <p>平成28年12月24日 RWC2019<sup>TM</sup>開幕1000日前イベントを開催及び東京タワー等でライトアップを実施</p> <p>平成29年1月7日 ジャパンラグビートップリーグ(サントリーサンゴリアス対東芝ブレイブルーパス戦)で小中高生向け観戦招待を実施</p> <p>平成29年1月11日 RWC2019<sup>TM</sup>公認チームキャンプ地に全国で76件90自治体が応募、うち都内では3自治体(武蔵野市、府中市、町田市)が応募</p> <p>平成29年1月27日 都内のラグビー関係のイベント・試合等の情報を集約したホームページ「東京都ラグビー情報」を公開</p>	

平成 29 年 2 月 27 日	ラグビー絵本「はじめてのラグビー教室」を作成。都内の公立・私立の小学校や、都立・区市町村立の図書館に配布
平成 29 年 3 月 10 日	RWC2019 <sup>TM</sup> における東京スタジアムの会場運営計画を策定
平成 29 年 5 月 10 日	RWC2019 <sup>TM</sup> のプール組分け抽選会開催にあわせ、都庁舎でパブリックビューイングを実施
平成 29 年 6 月 24 日	東京スタジアムでラグビーテストマッチ（日本代表対アイルランド代表）開催、同スタジアム西競技場で東京ラグビーファンゾーン 2017 開催
平成 29 年 9 月 18 日	RWC2019 <sup>TM</sup> 大会 2 年前イベントを開催及び東京スタジアム等でライトアップを実施
平成 29 年 11 月 2 日	ワールドラグビーのビル・ボーモント会長が都知事を表敬訪問 試合日程及びチケット販売概要発表、試合日程発表会に合わせ、都庁舎でパブリックビューイングを実施
平成 29 年 11 月 4 日	ラグビーテストマッチ（日本代表対オーストラリア代表）に合わせ、東京ラグビーファンゾーン 2017in 日比谷を実施
平成 29 年 12 月 24 日	ジャパンラグビートップリーグ（サントリーサンゴリアス対東芝ブレイブルーパス戦）で小中高生向け観戦招待を実施
平成 30 年 1 月 19 日	先行チケット抽選販売開始
平成 30 年 1 月 26 日	RWC2019 <sup>TM</sup> 公式マスコット「レンジー」発表
平成 30 年 3 月 9 日	RWC2019 <sup>TM</sup> 東京都交通輸送基本計画を策定
平成 30 年 3 月 23 日	RWC2019 <sup>TM</sup> 公式ボランティアプログラム概要決定
平成 30 年 4 月 1 日	ラグビーワールドカップ 2019 組織委員会東京地域支部（LOC）設置
平成 30 年 4 月 20 日	RWC2019 <sup>TM</sup> 公認チームキャンプ地が内定
平成 30 年 4 月 23 日	RWC2019 <sup>TM</sup> ボランティア募集開始
平成 30 年 5 月 6 日	大会 500 日前イベントを秩父宮ラグビー場で開催 デイカウンターをお披露目
平成 30 年 6 月 16 日	ラグビーテストマッチ（日本代表対イタリア代表）に合わせ、秋葉原でラグビーパブリックビューイング 2018inTOKYO を実施
平成 30 年 6 月 23 日	ラグビーテストマッチ（日本代表対ジョージア代表）に合わせ、調布駅前広場等でラグビーパブリックビューイング 2018inTOKYO を実施
平成 30 年 9 月 19 日	チケット一般抽選販売開始
平成 30 年 9 月 23 日	RWC2019 <sup>TM</sup> 大会 1 年前イベントを銀座で開催

現在の進行状況

#### 1 試合会場の提供

ラグビーワールドカップ運営受託会社のラグビーワールドカップリミテッド（以下「RWCL」という）により平成28年4月に行われた東京スタジアム視察を踏まえ、RWC2019組織委員会と会場運営計画を取りまとめ、平成29年3月にRWCLに提出した。平成29年度は、スタジアムの改修整備計画を取りまとめ、改修工事の実施設計を行った。平成30年度は、改修工事を進めるとともに、会場運営計画の更新を行う。

#### 2 交通アクセス

平成28年6月に東京スタジアムの会場周辺及びアクセス検討プロジェクトチームを設置し、2019年大会時の東京スタジアムへの交通アクセス、試合会場周辺の土地活用について、課題の検討を関係団体と連携し進めている。平成29年度は、2019年大会時の交通輸送に係る基本計画を策定した。平成30年度は、各関係機関や各種計画との調整により、項目・内容等を精査し、実施計画を策定する。

#### 3 公認チームキャンプ地

公認チームキャンプ地は、大会期間中にチームが滞在するキャンプ地で、RWC2019組織委員会が選定プロセスを一元管理している。都は、誘致主体である都内区市町村に対し、適時適切に相談・情報提供をきめ細かく行うとともに、平成29年度は、区市町村によるキャンプ地誘致の取組を支援するため、区市町村スポーツ施設整備費補助を拡充し、公認チームキャンプ地及び事前チームキャンプ地の施設整備のための工事について補助対象とした。平成30年4月に、RWC2019組織委員会が公認チームキャンプ地を内定し公表した。都内では立候補した武蔵野市、府中市、町田市に加え、RWC2019組織委員会が独自に追加確保した3か所が内定している。

#### 4 気運醸成

大会の認知度向上及び大会開催の気運を高めるため、ラグビーに関心のない層をはじめ、多くの都民・国民に興味を持っていただけるように、大会のプロモーションを実施している。

2018（平成30）年度は、大会開催500日前や1年前を記念したイベントを実施するとともに、6月にはラグビーテストマッチに合わせて、多摩・区部でパブリックビューイングを実施した。

今後も都主催のイベントやラグビーの試合などの機会を捉え、2019年大会のプロモーションやラグビー体験の充実、ホームページやSNSを活用した積極的な情報発信などを実施し、2019年大会に向けた更なる気運醸成を行っていく。

さらに、2019年大会時のファンゾーン候補地や都市装飾等についても検討を行い、計画等を策定する。

#### 5 ボランティア

RWC2019組織委員会は、2018（平成30）年4月から7月にかけてボランティアの募集を行った結果、全国で3万8千人を超える応募があった。

都は、東京都観光ボランティア及び東京マラソン財団オフィシャルボランティアクラブVOLUNTAINER（ボランティアナー）から希望者を募り、ラグビーワールドカップ2019組織委員会に1,060名を推薦した。

<p>今後の見通し</p>	<p>平成 30 年 10 月～ 東京ラグビーファンゾーン 2018 (11 月)  ボランティアインタビュー (12 月)  チケット一般先着販売開始 (平成 31 年 1 月)  平成 31 年 9～11 月 ラグビーワールドカップ 2019™ (第 9 回大会)</p> <p>2019 年大会を成功に導くため、庁内各局、RWC2019 組織委員会及び関係団体と連携し、試合会場の提供、交通アクセス、セキュリティ、ファンゾーン、ボランティアなどの大会準備を着実に進めるとともに、大会開催気運の醸成を図る。</p>		
<p>問い合わせ先</p>	<p>オリンピック・パラリンピック準備局  スポーツ推進部 ラグビーワールドカップ開催準備課</p>	<p>電話</p>	<p>03-5320-7790</p>